

2015年1月20日発行 通信第22号

発行人 今村久美子

編集人 土屋和子

〒191-0041日野市南平2-56-10 http://www.angel-hino.com/Tel&Fax 042-583-1528

特定非営利活動法人市民サポートセンター日野/郵便振替番号 00180-0-612689



Linkは、わたしたちのNPOが市民と市民、市民と行政、市民と事業者、市民と学校、子どもと大人といった様々な人たちをリンク(Link:つなぐ)することを、そして心と心をつなぐことを目指しています

2014年3月18日 仮配定 NPO 造人として配定されました

2014年3月18日に東京都より仮認定 NPO 法人の認定を受けました。2017年3月17日までに PST (パブリックサポートテスト)をクリアすれば、認定 NPO 法人として新たな一歩を踏み出すことに なります。ここまで支援してくださった会員の皆様、市民の支援者の方々に御礼を申し上げます。私ども は今後も設立の趣旨に基づき男女平等の視点に立ち、市民の暮らしの支援を行ってまいります。 引き続きよろしくお願い申し上げます。 理事長 今村久美子

ふれんどさん 母体となった日野市女性事業協会設立から20 訪問事業 周年を迎えた2011年より、当法人自主事業 保育室 として「陽だまりプロジェクト」を発足させま した。 陽だまり 陽だまりプロジェクトは、当法人の会員のボラ 市民活 カフェ 自主事業 ンティア精神から生まれた事業です。 動・お祭 コミュニティ いずれの事業も、活動の中で、会員さんが感じ 陽だまり カフェ 出張カフェ たニーズを事業化したものです。暮らしの支援、 スロジェクト 子育て支援、地域の支援を目指しています。 おかずクラブ かしのきひの ファミリー・ サポート・セ 運営支援 日野菜ママ ンター O歳児 日野市多摩平交 流センター指定 NPO 法人設立当初から、日野市の事業の ステーション 管理者 委託を受けています。ファミサポを始め おむすび 今年度は8事業を委託されています。 市民サポート 当法人の活動の特徴は、委託事業の遂行 小島善太郎記 エール保育園 センター日野 の中でキャッチした様々な市民ニーズ 念館受付 巡回相談 受託事業 を、速やかに、専門性の裏付けをもって 自主事業に転換・展開していくことです。 NPO 法人の活動は、迅速性、専門性、先 新選組のふる ひとり親ホー さと歴史館受 駆性が肝心です。当法人の自主事業は ムヘルプ事業 付案内 NPO ならではの市民対応、事業展開であ ると自負しています。 育児支援家庭 子育て支援事業 訪問事業 地域貢献事業

ふれんどさん

一緒に子育で

く メンバー 総勢20人 >

地域の子育て支援をする人

子育てに不安や迷いのある家庭を 訪問し、支援する。終了後はファミ サポなどの社会資源につなげてい <人。

家庭を取り巻く現状の情報を 持っている人

市内の子育て施設、子育てサービス、 病院、交通機関などの常に新しい情 報を収集し発信する人。



傾聴し共感できる人 依頼者の不安や悩みをゆったりと 聴き、共有する人。

> 何か悩んで いませんか?

一緒に子育てや家事を

ボランティアで 行います

0

ボランティア精神を持った人 無償で訪問、ボランティアとして対 等な関係を保ち、自ら工夫し自発的 に支援する人。

寄り添って協働出来る人 子育ての楽しさや大変さを共有し、 依頼者が一人で抱え込まなくても 良いと思えるように支援する人。

ふれんどさんとは

ファミリー・サホート・ センターの 「保育講習会」と 「ふれんどさん養成講座」 を受講・終了した方



ちょっと不安や 心配ごともあるの

ゆっくり話を聴きましょう

家庭訪問事業



例えば…





初めての赤ちゃん誕生で "てんてこ舞い"

沐浴、掃除、洗濯を一緒にします。

上の子もいて 手がたりません



大丈夫です。一緒に子育てしましょう







引っ越してきたばかりでだ れも知り合いがいないの

わたくしたち「ふれんどさん」が 友だち第一号になりますよ。 何でも話して下さい。



訪問事業実績 H24年~25年 訪問 18件 訪問回数 73回

訪問の効果



2. (Ce)

子どもか変わった♪

☆ふれんどさんと楽しく 外出、お昼寝も良くした。 ☆「ふれんどさん、いつ来 るの?」と聞く

☆子どもの笑顔が増えた ☆椅子に座って食べる習 慣が身に付いた

私は変わった♪

☆つらいときには他人の助 けを借りてもいいんだな ☆一人ではない安心感、気持 ちに少し余裕ができた

夫が変わった♪

☆ふれんどさんが来てく れた日は愚痴を話すこと もなく、楽しかった話ばか りだったので、夫は安心し て帰宅

☆ふれんどさんから聞い たアドバイスで、主人もな っとく

保育圏地域ひろば訪問







保育園訪問実績 H25 年度 訪問 8 園 58 件 多摩平 20 回 平山 20 回

多摩平 20 回 平山 20 回 大久保6回 高幡台4回 南平4回 高幡2回 旭が丘1回 三沢1回





ふれんどさん保育室



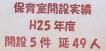


地域で社会参加 したい でも、赤ちゃんが いるし・・・ そんなママたちを 保育で応援!



























おかずクラブ 日野菜ママ

子育で世代に自野の野菜

日野菜ママの誕生

- ■「子どもに野菜をおいしく食べさせたい」
- = 「日野産の野菜に興味がある」
- ■「仲間と一緒に何か活動したい」

というママたちを募集し、「日野菜ママ」として自分たちが考えた料理のアイデアを広めたり、野菜に関する活動に結び付けようと3つのス テップで活動しています

広める

学ぶ



メンバーは O歳~ 3歳までのお 子さんのお母さん



同世代のママに向けて「食べ物について、 いま悩んでいる事」のアンケートをとり、 自分たちの目標を確認しました。 また、バランスのとれた献立についての勉 強会を行いました

創る



日野で生産される、季節の野菜のおいしさを引き 立てるようなメニューを考案し、試作します

広める





活動発表として、平成26年10月の「市民 フェア」では「日野の秋の炊き込みご飯」を レシピつきで販売





用意した200食は 1時間で完売

普段は家庭で子育てに追われる 日野菜ママたちが、自分でも何 か社会に発信できることを実感 した一日でした

活動の様子











さて、 何ができるで しょうか?



ママたちの社会参加を支える ふれんどさん保育室

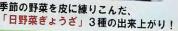


ママたちが安心して調理 や学習にとりくめるよう、 活動中はふれんどさんた ちが別室でお子さんを保 育します



季節の野菜を皮に練りこんだ、 ママやふれ んどさんと













野菜嫌いさんも ビーマン餃子を パクパク!

これからの取り組み



緒に試食

平成27年2月17日ふれあい館にて 高齢者向けの食事会を予定しています

「日野の地場野菜」と「子育て中のマ マが考案する料理」をキーワードに地 域に出向いてコミュニティづくりのお 手伝いをします

H27年度は、東光寺地区センターで活動 を始めます





ファミリー・サポート・センター 固ったときはお互いさき

受付から活動の実施まで





提供会員さんを 探しましょう



提供会員さん決定!



子どもと一緒に 打合せです



来所の相談も…





活動はいかがでしたか?



H25年度 活動件数 5.108 件 会員総数 7.131人

報告書を持って きました



〈会員交流会〉



手作リクッキーで おもてなし





子どもを預け安心して参加

地区サポさん大活躍

1ヶ月の活動を終えて



「地区サポーター」とは… 提供会員 585 名のリーダー役で 8中学校区に各1名います。

〈ミニ交流会〉



第1回目は 《二中・四中》地区

〈保育講習会〉





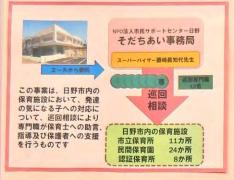
ファシリテーターとして サポートしてます





エール 保育園巡回相談

保育者と子どもの育ちを 安えます



事業の3つの柱 保育園 保護者との 巡回相談 個別相談

保育士研修

エール巡回相談事業の目的

この事業は平成19年度からの「子ども支援事業そだちあい」で当NPO法 人が独自に開発してきた巡回支援事業 をベースとしています。

平成26年度からは日野市発達・教育 支援センターの事業として、保育施設 の現場での子どもの発達支援、保育者 支援、保護者支援を3つの柱で実施し ています。

巡回相談実績



平成26年度 市立保育所 11 民間保育園 24 認証保育所 7 に於いて、

計129回の巡回相談 を実施しました

個別相談

巡回専門職が保育園に 通園するお子さんの保護 者に対し、発達に関する 相談を行います。

年間24件の相談を実施 し、必要な場合にはエー ルやその他の専門機関に 紹介します。



保育士研修





H26年度保育士研修から



平成26年11月14日に行われた保育士研修会では39名の保育士が参加し、事例から、保育園で可能な支援について具体的に話し合いました。グループに分かれた話し合いは、施設の垣根を越えた活発な交流となりました。

巡回専門職からは事例の解説と子 どもの発達支援についての講義があ りました。

平成26年度保育士研修の効果

研修後アンケート「この研修で学んだこと」

巡回相談の理 解が深まった 個別相談の活 用法を学んだ

他園と情報交 換できた

具体的実践方法を学んだ

保護者対応を学んだ

研修後のアンケートから

巡回相談でのアドバイスを受けて、実際に 保育に取り入れていくことの大切さを感じ ました。

グループに分かれて話し合ったことを発表 する機会を通して、新たな考え方や見方な どを知ることができました

巡回相談に挙げれば解決するということではなく、PDCAサイクルを回して最適な保育を提供し続ける努力が必要だということを学びました



子どもの発達障害、家庭の問題、保育施設の抱える課題など、子どもに係る問題は様々な要因が絡み合い、複雑化しています。

年に3回の巡回相談を有効に活用するために、事務局では

保育園サポート・コーディネーター という新しい職域を開拓し、保育施設 支援・発達支援を行います。

保育園サポート・コーディネーター の具体的な業務

- ・巡回相談専門職の助言が活かされるような、保育園個別のフォロー
- ・保育園がいま抱えている子どもの発達に 関する問題に迅速に対応する、保育園向け の相談窓口の設置

などが考えられます

0歳児ステーションおむすび

てをめすび ここうをかすんで 能にそだてきしょう

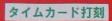
* おむすびの一日の流れ*

赤ちゃん受け入れ

体調はどうですか? ご飼おいつあげますか?











赤ちゃんの様子を伝える





カードプレゼント

000 5+ha





参加者累計のべ 1, 130名 【親そだち講座】

... ベビーヨガ





りらべ唄(2回シリース)





保育の様子



















保育の様子を記入

保育中の写真をとりカード作り







【保育以外】

掃除	湯沸し	保育室整備	洗濯
調乳	離乳食準備	食器洗涤.消毒	17 UT III.
保育関連書類準備	登録書類入力·管理		おむすび通信発行
		,-,	のもり ひ週間光1]]









【データ】

一川川から現住まで(2007年6月~2014年1	2月)~
登録数	8,304名	一時保育利用者数	のべ2,895名
~	今年度	(2014年4月~12月)~	
登録数	934名	一時保育利用者数	のべ298名
3・4ヶ月健診 会場での登録率	85.9%	一時保育リピーター率	58.8%

ひとり親・すくすくサポーター

子どもが密定して育つ環境

★ひとり親家庭 ホームヘルプサービス事業★ (ひとり親ヘルパー)

子育で課からの派遣依頼により、当 NPO 法人に登録しているヘルパーが日常生活 にお困りのひとり親家庭を訪問し、自立の 促進を目的としたサポートをしています。

★業務内容 ★回数·時間 ★行えないこと

- 会事の世話 ・1か月12日以内 質物 住居の消機、養理監督・十有別7時から午後10時までの(日1日:<mark>使育施設などの透達</mark> 使用の消機、養理を 機関の元素・網修 ・2時間から最大8時間まで 非日常的な業事業 ・非日常的な業事業

私たちは、 日々愛情をもって 子どもたちとふれ あっています



ー緒に 子育てしましょう!



★育児支援家庭訪問事業★ (すくすくサポーター)

子ども家庭支援センターからの派遣依頼に より、当 NPO 法人に登録しているすくすくサ ポーターがケースワーカーの指導のもと 育児に不安を抱える家庭を訪問し、育児困 難に陥らないよう安定した育児となることを 目的に支援をしています。

★スムーズな連携★

家ではひとり親ヘルパーとして! お迎え・外出はファミの提供会員として!

子どもの習いごとや保育園・学童クラブなどの送迎は、

子ともの官いことや保育圏・宇童クラフなどの法理は、 ひとり親へルバーとして対応ができません。 しかし当NPOのヘルパーは、ほとんどがファミサボの保育 援助ができる提供会員でもあるので、利用者の要望があれ ば、ファミサボの活動として送迎を行っています。 同じ大人が併用して対応することで、子どもとの信頼関係 も深まり、保護者の方にも安心していただけています。

★今年度実績(H26.4月~11月)★

サポータ登録者数・・・・・30名

利用家庭数 · · · · · · · · · · · 4 延べ派遣時間数・・・・156 時間

育児支援家庭訪問事業は平成18年からスタートしました!

これまでの8年間、すくすくサポータは26件の家庭を 訪問し支援をしてきましたが、年々派遣依頼の数も減っ

てきています。 しかしそれは支援の必要な家庭が減り、安定した育 児を行えているという証でもあるため、私たち NPO にと っても、とても喜ばしいことだと思っています。



おむすび・ファミサポ 登録会



3.4ヶ月健診に合わせ登録会を実施。 子育て家庭のサポートの入り口として、 日野市が行う子育で応援事業 おむすび・ ファミサポの紹介をしています。

野の子育ての安心をお

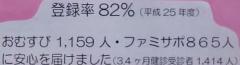








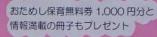












登録会での声







提供会員さんと健診に来ました。 ファミサポに登録してよかったです。

預けられる先がある と思うだけで安心できました。

多摩平交流センター お客機の豊かな文化活動を

指定管理

変え書す



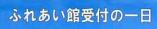
多摩平の森ふれあい館



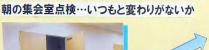
H21年4月より日野市立多摩平交流センターの 指定管理者として総合受付業務と交流センターの 管理を行っています。総合受付スタッフと集会室の 管理を行うマルチスタッフにより、市民の皆さんや 各種団体の社会福活動を推進し、あわせて文化、 教養の向上など諸活動を支えています。



管理員さんと連携し安全確認









笑顔いっぱいの受付









パソコンで予約を管理します



精確なレジ対応をめざしています

受付スタッフ研修

12名の受付スタッフは集会 室予約の管理や使用料の収 受の他、地域の見守り役とし ての意識をもち、研修等でス キルを高めています。





より良い受付業務をめざして話し合いを続けています



当法人独自の自主事業

H26 年度

今年のテーマは「高齢者の安全、安心」。日野菜ママに よる日野の季節の野菜を使った、ランチ付きの講習会 を企画しています。

2015年2月17日(火)10時~13時 ふれあい館集会室6にて

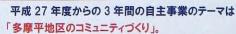
加齢に負けない!

世康づくい識習会とランチ

アロマセラピーによる自分でできるマッサージ法の講習会

多摩平地域のコミュニティの核を作る

H27~29年度



大型商業施設や大規模集合住宅の建設により、多摩平地区は大きく変 化しています。新しく多摩平の住民になった市民も交えて、地域の文化 や人のつながりを大切にできるような事業を実施します。



・「ちいさな発表会」

第2彈(H28年度)

連続講座「たまだいらのヒミツ」

第3弾(H29年度)

・たまだいら検定





平成26年5月 入館者数 達成!! 10万人

(平成25年度 入館者数14,251名)

新選組のふるさと歴史館

頭でお出独え









グッズの販売もしています♪





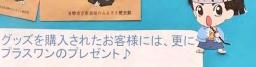




手作りの袋に入れてお渡ししています



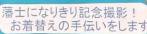














小島善太郎記念館

ようこそ 百草の丘の 然あるれるアトリエへ











受付スタッフ

















グッズ販売



高次脳機能障害者と家族の会 かしのきひの 運営支援 当事者と家族のエンパワーメントを目指して

見えない障害 高次脳機能障害とは見えない障害と言われるほど、外見はもとより、その障害像もわかりにくい障害です。その原因は大きく分けると、脳こうそくや脳出血など脳血管障害によるものと交通事故、転落事故などの頭部外傷によるものが一般的です。

高度医療の発展に伴い大きな事故、病気でも命が助かる方が多くなってきましたが、その半面で脳に起こった機能障害が残ることが多いのです。全国にすべての年齢層をあわせて約27万人、そのうち18歳以上65歳未満は約7万人と推定されています。

日野市の高次脳機能障害者 日野市で高次脳機能障害を有する方がどのくらいいらっしゃるのかははっきりしていません。しかし、平成 24 年に高次脳機能障害の当事者と家族の方々の有志が「高次脳機能障害者と家族の会 かしのきひの」を立ち上げ、活動を始めています。10 年以上にわたって高次脳機能障害者の方々の支援をしていた当法人・事務局長は、高次脳機能障害者とその家族の地域での生きにくさを何とかしたいと考えていましたが、家族会の立ち上げの際に会の顧問として関わり、引き続き、運営支援を行っています。

かしのきひのの今後の展開 現在、かしのきひのは月1回の定例会(第3水曜日午前中) を開催し、会員同士の情報交換や気持ちの共有、就労支援への検討などを行っています。また、昨年度は卓球台を購入し、体力づくりと会員交流の試みを始めました。今後は定例会を午前午後の一日として、午後は就労に結び付くプログラムの実施を企画しています。

皆様のご理解ご支援をよろしくお願いいたします。

(事務局長 土屋和子)

仮認定 NPO 法人市民サポートセンター日野へ、ご支援をお願いします。

LINK22号では、ますます活発に活動する陽だまりプロジェクトの現況をお知らせしましたが、いかがでしょうか。今年も受託事業を精一杯遂行していくと同時に、陽だまりプロジェクトを大きく成長させていきます。

20 年にわたる暮らしの支援が個々の家庭のニーズに応えるものであったとすれば、陽だまりプロジェクトは、個々の家庭や市民からのニーズを地域に視点を移し、地域づくりをしていこうというものです。

今後の陽だまりプロジェクトの発展のために、 どうぞ皆様のご協力をお願いいたします。

当法人では、賛助会員入会と寄付をお願いしております。ご不明な点は NPO 市民サポートセンター日野事務局 042-583-1528までお問い合わせください。

賛助会員入会については下記にご連絡ください NPO 法人市民サポートセンター日野 ☎042-583-1528

〒191-0062 日野市多摩平 2-9 多摩平の森ふれあい館 2 F ご寄付は便利な郵貯口座振替をご利用ください ゆうちょ銀行振替口座

No. 00180-0-612689



毎年、11月くらいになると、「来年の新年の集まりはどうする??」という会議が始まります。 前年秋から実行委員会を立ち上げ、事務局、各事業部から実行委員が選出されて、会のコンセプト

作りから始めます。2015年は活動発表と交流の集いとなり、各事業で事業内容のポスターを作ることになりました。本号LINK22号は、そのポスターをそっくりそのまま掲載するという新しい試みです。 手作り感あふれるポスターから、NPO スタッフの情熱と温かさを感じていただければ幸いです。(和)

